

2018年10月5日

関係各位

名古屋大学生物機能開発利用研究センター長
中 園 幹 生
[公印省略]

名古屋大学生物機能開発利用研究センター
開発・展開部門有用農業形質保存分野教授公募について

この度、名古屋大学生物機能開発利用研究センターでは、下記の要領で教授を公募することになりました。つきましては、関係分野の方々にご周知いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 選考方針

当センターでは、多様な生物の生命現象に関わる生物機能を解明し、その研究成果を有用生物に応用することにより、生物系システムの高度利用に貢献することを目的とした研究活動を行っています。

本公募では、イネ科作物を中心とした有用遺伝資源の開発、収集、保存を行うとともに、これらリソースの遺伝変異を利用して形質発現の機構を解明し、生産現場への応用を目指した研究を展開できる人物を求めています。さらに、名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター（東郷フィールド）と密接に連携しながら、上記研究を推進できる人物を求めています。

なお、公募する教授には、本センターの運営とともに、名古屋大学大学院生命農学研究科植物生産科学専攻の協力教員として授業と研究指導も担当していただきます。

2. 応募に必要な書類等

- (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレス等を含む）
- (2) 履歴書（様式任意）
- (3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許等に分類して、番号を付すこと）
- (4) 論文等の PDF ファイル（主要なもの 10 編程度、著書等の場合はコピー、印刷物でも可）
- (5) 現在までの研究の概要（2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと）
- (6) 今後の研究に関する計画と抱負（2,000 字程度）
- (7) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（1,000 字程度）
- (8) 過去 10 年間の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と金額を明記のこと）
- (9) 大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え（1,000 字程度）

- (10) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項）
- (11) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、e-mail アドレス

- ・上記の書類各1部をA4サイズ用の紙に印刷して提出してください。
- ・「(4) 論文等のPDFファイル」についてはCD、USBメモリ等の電子媒体に保存したものを提出してください。
- ・(4)を除く、(1)～(11)の提出書類を一つにまとめたPDFファイルも同じCD、USBメモリ等の電子媒体に保存して提出してください。
- ・提出された書類は本選考以外の目的には使用しません。応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し返却しません。

3. 応募方法

(1) 応募期限

2018年12月3日（月曜日）必着

(2) 書類送付および問い合わせ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学生物機能開発利用研究センター
開発・展開部門有用農業形質保存分野教授選考委員会
委員長 中園幹生
E-mail : nakazono@agr.nagoya-u.ac.jp
Tel: 052-789-5194

※ 書類は「応募書類在中」と朱書きし、書留郵便または宅配便など配達記録の残る方法でお送りください。

※ 応募締め切りの1週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。なお、お問い合わせは、委員長宛に電子メールでお願いします。

4. 着任予定時期

2019年4月1日以降を予定していますが、ご相談の上決定します。

5. その他

- (1) 選考の過程で面接やセミナーをお願いすることがあります。交通費は自己負担とします。
- (2) 当センターでは、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、下記 Web ページをご覧ください。
(<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>)